

指定校番号	28022	学級活動	児童会・生徒会活動	○	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-----------	---	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立河内小学校	校長	長本 英高	生徒指導主事	高橋 学
-----	-----------	----	-------	--------	------

取組事例名 『異学年交流』

取組のねらい『キーワード：異年齢間ピア・サポート』

異年齢間での「お世話をする・される，支える・支えられる」交流体験を通して，個々の児童の安心感や自己有用感，共感性や向社会的スキルの育成。

取組の具体的内容『キーワード：経験や体験を積み重ねて』

1. 年度当初，3つの縦割り班活動の取組を年間行事計画に組み込む。
 - (1) フレンドタイム・・・縦割り班で遊ぶ。年間12回。
 - (2) 縦割りロング掃除・・・縦割り班で清掃をする。年間8回。
 - (3) ウォークラリー大会・・・縦割り班で校内に設けたクイズとゲームコーナーをまわる。年間1回。



2. 取組日課

上記の(1)～(2)については，普段の昼休憩と掃除時間を合わせ，約30分間を設定する。(3)は，平成28年11月18日実施 1.5単位設定。



3. グルーピングをする。(年度当初)

全校児童158人。1年から6年生までの異年齢の14グループのメンバーを組み担当教諭を決める。(1グループ約11名)

4. 各活動内容詳細
 - (1) フレンドタイム

リーダーの6年生を中心に，運動場で「けいどろ」「高鬼」などの鬼ごっこをするグループや「長縄」するグループ遊びをしている。活動後，今回の活動の様子を元に，次回の遊びテーマを6年生と担当教諭とで企画している。



- (2) 縦割りロング掃除

2グループを1組(22名)として，毎回掃除内容の役割分担を変えながら，上級生のアドバイスのもと，協力しながら掃除をしている。活動の最後に全員で振り返りをしている。



- (3) ウォークラリー大会
 - ① 代表委員会でウォークラリーの提案【11月2日(水)】
 - ② 1～6年生の6コーナーと地域の方の計7コーナー内容を決定。【11月11日(金)】
 - ③ コーナーづくり【11月16～18日】
 - ④ 当日



体育館に集合し開会式をする。「縦割り班で行動」・「あいさつをする」「終了時間を守る」を合い言葉に，ゲームでは達成速度を競ったり，クイズの回答を用紙に記入したりしながら交流を深めた。

取組の課題・創意工夫『キーワード：振り返りと認め合い』

定期的に、異学年交流の場を設定することで、次回への見通しを持つことができる。取組の後、互いの「よい」ところを発見・発表し共有することで下級生を思いやる気持ちや上級生への憧れが、より強く深い繋がりを形成すると考える。

取組の成果（効果）『キーワード：自己有用感』

- ・ 回を重ねるごとに、縦割りグループ内での下級生への関わり方や声のかけ方がうまくできる上級生が増えた。
- ・ 交流や活動をする中で、頼られる体験やお世話をする体験、感謝される体験などを通して、自己有用感を高めたり、上級生としての自覚を深めたりする児童がいる。
- ・ 年上の子は年下の子を思いやり、年下の子は年上の子にあこがれるという、当たり前な光景が見られ、みんなが大切にされ、活力あふれる時間となっている。

今後の展開『キーワード：効果的』

他の行事との間隔や関連性をしっかり吟味して、一年間を見通した行事を組むことで、更に効果的な取組としたい

他校へのアドバイス『キーワード：繋がり』

1 学年 1 学級の本校では、同じ学年での深い繋がりに限界がある。縦の繋がりを深めることにより学年に応じた責任感を培うことができると考える。